

令和6年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会
第2回定例会会議録

1 開催日時 令和7年2月13日(木)午後2時30分から午後2時45分まで

2 開催場所 小牧岩倉エコルセンター 2階研修室

3 出席委員

松井 隆明	委員長	西村 多香子	委員	高田 良	委員
余語 正義	委員	木村 信昭	委員	倉知 正人	委員
松浦 裕昭	委員	井上 功	委員	稲垣 貴宣	委員
山崎 豊	委員	新屋 大輔	委員		
河村 典久	委員(学識経験者)				
梅村 知成	委員	伊藤 新治	委員	秋田 伸裕	委員

欠席委員

伊藤 英二 委員 入江 慎介 副委員長

事務局

竹内 隆正	事務局長	櫻井 晃生	総務課長
熊崎 礎功	業務課長	服部 和宏	業務課長補佐
稲垣 徹	業務課施設管理係長	永見 昭恵	総務課庶務係長

4 議題

(1) 令和6年下半期管理状況について

5 会議資料

・下半期埋立実績

6 議事内容

竹内事務局長：本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。只今から「令和6年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会第2回定例会」を開会いたします。本日の出席委員は、15名であります。環境センター処分場管理委員会要綱第6条の規定によりまして、会議は成立しております。なお本日の会議資料でございますが、次第並びに資料1種類を机の上に配布しておりますので、ご確認いただければと思います。次第にしたがいまして、松井委員長よりごあいさつを

いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

松井委員長：あいさつ

竹内事務局長：ありがとうございました。これ以降の議事の取り回しにつきましては、松井委員長にお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

松井委員長：それでは、議事に入ります。議題1「令和6年下半期管理状況について」を議題とします。事務局の説明をお願いいたします。

熊崎業務課長：令和6年下半期管理状況について、報告させていただきます。資料1ページをご覧ください。下半期の埋立実績です。7月から12月までの下半期合計は、搬入日数は71日で、埋立物は15.65ト、覆土量を合わせた容積換算量の合計で10.34 m^3 でした。年間の合計埋立物は28.65ト、令和5年と比較しますと、率で、13.70%（4.55ト）の減少でした。主な理由は、埋立ごみの火災廃材の減少によるものです。

続きまして、2ページをご覧ください。写真が、令和7年1月7日に埋立地内を撮影した埋立現況写真になります。下の平面図は、令和6年12月末の埋立現況図になります。実埋立容量の26万7,700 m^3 に対し、埋立量は19万6,901.50 m^3 で、埋立率は、73.55%です。

続きまして、3ページをご覧ください。令和6年下半期の調査概要です。（1）目的、（2）測定機関、（3）測定項目、（4）測定地点につきましては、変更はありません。各種測定箇所は、4ページに示すとおりです。

続きまして、5ページをご覧ください。水質検査等の測定結果としまして、1、原水水質測定、埋立地から出てくる浸出水の水質測定結果になります。測定は、7月2日と11月5日に測定を行い、結果につきましては表中に記載された通りです。次に、2、騒音測定結果をご覧ください。12月10日から11日にかけて測定を行いました。測定地点①、昼間が43dB、朝が42dB、夕が39dB、夜間が40dB、測定地点②につきましても同様に測定を行い、結果につきましては表中に記載された通りで、基準値以下の値でした。なお、敷地境界線上での測定のため、水処理施設から離れており、施設以外の周辺騒音も含まれています。3、振動測定結果をご覧ください。騒音測定と同様に12月10日から11日にかけて測定を行いました。測定地点①、②共に、昼間、夜間共に30dB未満で、基準値以下の値でした。30dB未満の値については測定

保障下限値未満のため括弧内に参考として表記しています。次に、4、悪臭測定結果をご覧ください。測定は、12月11日に行いました。測定項目は22項目です。項目1のアンモニアから、項目22のキシレンまで測定を行ない、全て基準値以下の値でした。

続きまして、6ページをご覧ください。5、下水道放流水の水質測定結果です。この水は、処理後の放流水になります。7月から12月まで毎月測定を行いました。健康項目の項目1のカドミウム及びその化合物から、項目28の1, 4ジオキサンまでと、生活環境項目の項目1の水素イオン濃度から項目16のリン含有量までと、その他の4項目の測定を行い、結果につきましては表中に記載された通りで、全て基準値以下の値でした。続きまして、7ページ目をご覧ください。6、地下水の水質測定結果です。7月と9月には、自主測定にて、生活環境の保全に関する環境基準の項目1、2、4、5とその他の1、3、4を測定しており、結果は、表中に記載されたとおりです。地下水の水質測定は、11月5日に行いました。人の健康の保護に関する環境基準の項目1、のカドミウムから項目28の1, 4ジオキサンまでと、生活環境の保全に関する環境基準の項目1、の水素イオン濃度から項目16のリンまでと、その他の4項目の測定を行い、結果につきましては表中に記載された通りで、全て基準値以下の値でした。8ページについては、用語の資料です。以上で管理状況の報告を終わりますが、1点報告がございます。

環境センター処分場は、平成10年4月の竣工以来、埋立地内から排出される浸出水を水処理施設で公害防止協定値以下に処理した後、小牧市公共下水道に放流しています。水処理施設につきましては、毎年点検整備委託を実施し、定期的な部品交換と機械整備を行ってきましたが、設備自体が26年を経過し、長期的、継続的な使用によって、コンクリート構造物の水槽や電気・機械設備など施設全体の老朽化が見られるようになりました。そこで、令和7年度から令和9年度までの3カ年をかけて大規模修繕工事を行う計画でありますので、ここで報告させていただきます。

松井委員長：ただいまの事務局の説明は終わりました。説明についてご質問等ございませんか。

余語正義委員：2点、質問させていただきます。埋立の実績で12月に埋立ごみの量が多いですが、火災の燃え殻の処分量が増えたということですか。もう1点、浸出水処理施設の工事の件は、全面改築、更新をされる

ということですか。また処理の方法は同じということですか。

熊崎業務課長： 1点目の埋立量の件ですが、下半期に関しても、罹災の関係は入っておりません。先ほどお伝えしたのは、令和5年度と比較して13.7%の減少した要因は、罹災に関係したものであるということです。

2点目ですが、水処理施設の関係ですが、建て替え等は予定しておりません。計画としては26年経過して、処理能力が低下してきているので、当初設計の処理能力を維持するため、内部の洗浄とか配管の交換、水槽の清掃等を行って、リフレッシュするものです。

余語正義委員：ありがとうございました。基本設計は終わっているのですか。

熊崎業務課長：基本設計、実施設計は終わっています。あとは施行を進めていく形です。

松井委員長：ほかにご質問はございませんか。なければ議題1につきましては終了いたします。引き続いて「その他」について、事務局から何かございませんか。

竹内事務局長：事務局から1点、ご連絡をさせていただきます。

次回の管理委員会の開催時期であります。令和7年の8月を予定しております。委員の皆様には、時期が参りましたら、郵送にて通知をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

以上です。

松井委員長：何かほかにごございませんか。無ければ、本日予定しておりました議事を終了します。これをもちまして、令和6年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会第2回定例会を閉会いたします。本日は、お疲れ様でした。